

エコフリース 施工説明書

壁紙施工の前に必ずご一読ください

1. 商品到着後、外箱に外傷がないことをご確認ください。万が一ございましたら早急にご連絡ください。
2. 表面に色ムラや汚れがないことをご確認ください。
3. 製品の特性上、色違い、質感等、サンプルと若干違う場合もございます。ご了承ください。
品質に問題がある場合は施工前にご連絡ください。
4. 同一面に施工される場合、商品ロット番号が同一のものをご利用ください。
5. 無塗装品は現地で水性塗料にて塗装してお使いください。2回塗り以上をお勧めします。
6. 商品は内側が仕上げ面です。
7. 縦置きされますと端がつぶれる場合がございます。保管は高温多湿、直射日光を避けるようにしてください。
8. 現地の下地状況に合わせて平滑になるように下地処理を行ってください。
貼替の場合、貼替前の裏紙を残しますとエコフリースが浮く原因となりますのでご注意ください。
合板、モルタル下地等、灰汁の心配のある下地にはシーラー処理が必要です。また石膏ボードの下に灰汁を発生するものもございます。ご注意ください。
9. エコフリースは伸び縮みが少なく強度がある壁紙です。出隅などコーナーは真っすぐな90度のコーナー下地作りをお願いします。浮きの原因となります。
10. 施工糊はエチレン酢ビボンド入り、原液タイプのものご使用ください。(推奨:エテルノシリーズ用接着剤 EBG100)
塗替えが想定される場合は接着力の強いものをご使用ください。(推奨:エテルノシリーズ用接着剤 EBG200)
11. エコフリースは寸法安定性に優れていますので、糊付けしたものから順次施工してください。
オープンタイムは基本必要ありませんが、少し放置していただくと柔らかくなり施工しやすくなります。
糊付け後はクロスパックに入れ、糊の水分の蒸発を避けてください。
12. 表面に糊が付着した場合は、固く絞ったスポンジ等ですばやく拭き取り、再度乾いたウエスで拭いてください。
艶がない壁紙のため、糊の拭き残しがありますと非常に目立ちます。また変色の原因となります。
13. 施工中、手に塗料が付く場合がございますが、余分に付着した塗料ですので製品上問題ございません。
14. 折りシワが付きますと取れなくなりますのでご注意ください。
15. 施工は、突き付け、重ね切り(相裁ち)のどちらでも可能です。重ね切りする場合は、石膏ボードの表面を切らないように下敷きテープを入れてください。入隅は廻し貼りをせず、カットしてください。
16. 硬い樹脂ローラーで押し付けられますと若干光沢が出ます。柔らかいローラーで施工してください。
また、金属ヘラ等硬いものを使用されますと黒い線が付きますので樹脂ヘラ等柔らかい物をご使用下さい。
17. 同様に毛の硬い撫ブラシもツヤ差等の原因になります。柔らかい物をご使用下さい。
18. 3幅ほど施工された状態で一度ツヤ差、左右差等ご確認ください。万が一商品に異常がある場合には施工を中断していただき、ご連絡をお願いします。
19. 施工後の急激な乾燥は避けてください。
20. コーキングは専門メーカーにて色合わせしたものをお使いいただくことをお勧めします。
21. メンテナンスの方法はビニールクロスと異なります。メンテナンスガイドにてご確認ください。

エコフリースはホルムアルデヒド規制対象外品として、国土交通大臣の認定を受けています。

国土交通大臣認定番号	MFN-3507	F☆☆☆☆
------------	----------	-------

エコフリースは基材との組み合わせで、国土交通大臣より防火材料の認定を受けています。

不燃材料認定番号	NM-0223	下地材:不燃材料(金属板を除く)
----------	---------	------------------

不燃材料認定番号	NM-5493	下地材:金属板
----------	---------	---------

準不燃材料認定番号	QM-0135	下地材:準不燃石膏ボード
-----------	---------	--------------

エコフリース メンテナンスについて

1. 手垢などによる部分的な汚れは、ウエス等に水またはぬるま湯を含ませて拭き取るようにしてください。

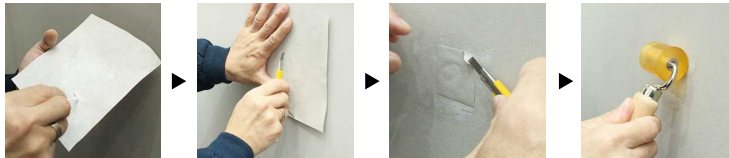
落ちにくい場合は食器用の中性洗剤を必ず水で薄めてご使用ください。

激しい汚れの場合はメラミンスポンジをお使いください。

その際、擦りすぎは光沢が出ます。ご注意ください。



2. 取れない汚れ、小さな傷、はがれは塗料を上塗りしてください。
(部分的な補修は上塗り後すぐに拭き取ることをお勧めします)
3. 壁紙が膨れた場合は糊を入れて貼り戻すようにしてください。
4. 壁紙が貼り戻せない場合は、パッチワークの要領で新しい壁紙を切り貼りし、再度塗装してください。
部分塗装で色が揃わないときは全面に塗装するようにしてください。
同じ壁紙を上貼りすることも可能です。



5. 簡単なへこみ傷はウエス等で水分を含ませるか、アイロン等の蒸気で温め壁紙を膨らませて補修してください。
アイロンを直接当てたり、ウエスでこすりすぎますと光沢が出ます。ご注意ください。



6. 入隅で口が開いた場合は、ボンドコークでふさぎ、塗料を塗るようにしてください。
7. 全体が汚れた場合は、そのまま水性塗料で塗り重ねていただけます。
8. 補修塗料は厚塗りにならないようご注意ください、塗料を水で1:1程度で希釈しよく攪拌して薄塗りをし、数回重ねるか、拭き取りながら様子を見て塗り重ねるようにしてください。
ドライヤーなどで早めに乾かすとムラになりにくいです。



その他、商品や施工などにご不明点がございましたら、お買い上げいただいたお店または弊社までご連絡ください

株式会社ナガイ インテリア事業部

〒107-0062 東京都港区南青山2-9-3 3F TEL 03-6434-9840 FAX 03-6434-9841

TEL 0568-86-5557(名古屋) TEL 06-6131-9155(大阪) TEL 092-586-3281(九州)